太陽光発電の買取条件を設定する際の論点

□ 適正な価格と期間

- 安くても普及せず高すぎても駄目。ある程度幅広いプレーヤーが参加できるように
- 少なくとも法廷耐用年数を超える買い取り期間
- 日本市場のコスト構造（パネル以外のBOS、流通、開発コスト
- 出力、設置場所による重み付けをどの程度まで行うか、
- また、地域や対象技術を考慮するか。
- インフレを考慮するか

□ 価格逓減のタイミング（期間）

- 低下のスピード、メカニズムが見通せること
- コスト構造の変革と市場の成熟
- 開発期間の長い大規模プロジェクトをどう考えるか
- キャップ設定や年間導入目標を設定すべきか

□ 産業の育成

- FIT自体には国産/外国産の調整機能はない
- 製造だけでなく下流のバリューチェーンも含めて育成を考えるべき
- そもそも勝負は国内だけでなく世界。世界で勝負できるプレーヤーを育てる。

COPYRIGHT © KOKUSAI KOGYO GROUP All Rights Reserved.